

Case18

木下製粉
株式会社

事業計画名

製粉事業における小麦粉充填システム
導入による生産性及び品質の向上

当社は現在、県内外約 800 店舗のうどん専門店にうどん粉を納入しているが、近年の人口減少に伴い県外に向けた販売に注力している。そこで小麦粉を業務用袋に充填する工程において、篩い能力の不足、充填後の口封工程の作業効率面で2つ問題があり、本事業で生産性及び品質の向上を図ることとした。

取り組みの経緯



うどん店の厨房スペースの小型化、労働者の高齢化及び女性スタッフの増加など近年では店舗業務の形態に変化があり、小麦粉袋の小型化ニーズが急増。しかし従来機では小型袋の口封ができず需要を逃していた。また篩い機は高温多湿の夏場に篩い能力が低下し、篩い切れずに残る小麦粉(オーバー)が発生。そのオーバーの点検作業が生産工程内の時間ロスにもつながっていたこともあり、課題改善を要していた。

実施内容

本事業では小麦粉充填後の注入口を密閉するために使用する新型自動口封機と異物混入防止のための振動篩機を導入した。口封機においては、これまでは口封前の小麦粉袋の整形が十分でないことから1~3%の不良品が発生していたこと、またサイズの固定化を目指した。また篩機においては、オーバーの問題点、ISO22000の取り組みにおけるCCPとしての管理ができない点の解決法を模索した。*CCP(Critical Control Point重要管理点)



成果



本事業の取り組みにより小麦粉の効率的かつ衛生的な運用が可能となり、ISO22000を望ましい状態で運用できる。また口封不良率はほぼゼロになり、篩い効率も向上、管理も容易となった。異なるサイズの袋の口封も可能であるため、今後は10kg、12.5kgといった小型の袋を定番化できる。今後は新規顧客獲得をし、さらなる市場拡大及び販売経路を広げ、売上向上を目指すと共に他とは一線を画す業態づくりを目指す。

代表者メッセージ

代表取締役社長
木下 敬三「おいしく健康」をキーワードに
次世代のビジネスマodelの確立を

創業1946年、以後70有余年、製粉製造所として信頼と実績を誇り、長年地元の皆様から愛され続けております。小麦の品質を見極め、主力となるさぬきうどんに最適な専用小麦粉や独自製法のパン用小麦粉など業務用から個人用まで幅広い商品を展開。また1953年から製造を開始した乾麺など二次加工食品も手がけ、乾麺においては「さぬきうどん技能グランプリ」で17度の受賞歴を誇ります。今後も伝統を継承しつつ革新的開発に果敢に挑み、小麦粉を通してお客さまに「おいしく健康」な健やかライフのサポートに従事してまいります。

企業情報

所在地	香川県坂出市高屋町1086-1
TEL	0877-47-0811
設立	1950年10月
代表者	木下 敬三
業種	食品製造業
従業員数	27名
事業内容	各種小麦粉製品や加工製品の製造及び販売

無限の可能性を秘めた小麦粉の
未知なる味わいを模索・探求し
商品開発も積極的に挑んでいく

当社ではオリジナル商品の開発にも積極的に取り組んでいます。自然の食物繊維・小麦ふすまを100%使用した「飲むブラン」は、自然の食物繊維もたっぷりヨーグルトやドリンクに混ぜたり、料理にも使える万能さが人気。小麦粉の良さを生かし、気軽に手軽に味わえる商品開発で、これからも皆様のヘルシーライフをサポートします。